

〔 横浜市陶芸センター 〕
平成 25 年度業務報告及び収支決算

〔 シンリュウ(株) 〕

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯 1 棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396㎡、 登り窯延床面積 60㎡
開館日	平成 5 年 8 月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ 株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 514-2
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成 2 年 4 月 26 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

平成 25 年度の自主事業の利用者数の伸率は、作陶の自主性を尊重した自由作陶教室と特定の焼き物作りに特化した自主事業教室で増えた反面、貸室事業の伸率の鈍化が少々見られました。自主事業は、毎年が増加がみられますが、若年層の伸率は横ばい状態で、10 代から 20 代への陶芸及び造形活動への興味喚起とそれに伴う作陶環境の整備が必要と思われ、より一層の地域への開放と、陶芸知識の基地化を推進して行こうと思います。今年度は、陶芸祭や、陶芸ライブラリーの蔵書の充実、5 日間にも及ぶ利用者参加型の迫力のある穴窯焼成体験、作陶講座の多様性等、市民文化の振興に寄与するため、限りあるスペースを最大限活用し、陶芸活動、文化の発信基地としての陶芸センターの役割を実行するためについて尽力しました。

(2) 25 年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業の総括

- ・穴窯焼成体験講座、電動ロクロ水挽き徹底講座や、初級中級、自主型自由作陶教室、陶芸指導者研修講座、陶芸祭の参加型一日体験講座等の実施、上絵付けの追加講座の開講等利用者の要望を踏まえ受講率を高め利用収入の増加に努めました。

②運営の総括

- ・年間 356 日間開館し、利用者の便宜を図り利用促進に努めました。
- ・貸室及び自主事業の利用者数は、合わせて 18,010 人となり、前年比 101%、233 人の増加となりました。

③管理の総括

- ・点検等を確実にいき、施設、設備、備品の適切な管理ができました。
- ・汚泥管理、環境維持管理対策として、排水溝の定期清掃と取置コンテナでの初期手洗いを実行して、汚泥等の排水溝や桝への流入を最小限に留めるよう努力しました。

④その他の総括

- ・日報、月報、業務計画書、業務報告書の作成、業務評価、その他指定管理者業務について、適切に対応し、また、横浜市との連絡調整を密にし、円滑な業務遂行に努めました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 陶芸の普及と市民の作陶技術向上の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①体験型教室の開催	①●□一日体験教室を年間 33 日開催する。目標利用者数 400 人 ●□親子陶芸教室を年間 18 回開催する。目標利用者数 700 人 ●□陶芸祭期間中、手びねり体験、ロクロ体験、楽焼の教室を 4 日開催する。目標利用者数 160 人	①初めての陶芸に接する方の体験教室として、計画通り開講できました。昨年度に比べて利用者数は、下回りましたが、全体の利用者は、1214 人（昨年度 1240 人）が受講されました。	①●一日体験教室の開催 □開催回数 33 回 33 日 □利用者数 359 人 ●親子陶芸教室の開催 □開催回数 18 回 18 日 □利用者数 693 人 ●陶芸祭期間中に体験教室を 3 講座開催 □開催回数 4 回 4 日 □利用者数 162 人
②基礎教室の開催	②●□手びねり初級教室を年間 3 回、24 日開催する。 目標利用者数 460 人 ●□手びねり中級教室を年間 3 回、24 日開催する。 目標利用者数 460 人	②計画通り、開講できました。初級、中級教室の講座の再受講による、陶芸技術基礎の学び直し目的で利用者数が増加しました。 利用者数 2010 人 (昨年度 1844 人)	②●手びねり初級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □利用者数 501 人 ●手びねり中級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □利用者数 550 人
③自律型教室の開催	●□電動ロクロ初級教室を年間 3 回、21 日開催する。 目標利用者数 350 人	③自由作陶教室及び第 2 作陶教室は、自分のペースで、作陶できるメリット	●電動ロクロ初級教室

	<p>●<input type="checkbox"/>電動ロクロ中級教室を年間3回、21日開催する。 目標利用者数 350人</p> <p>③●<input type="checkbox"/>自由作陶教室を年間350日開催。目標利用者数 6500人</p> <p>●<input type="checkbox"/>第2自由作陶教室を年間49日開催。目標利用者数 810人</p>	<p>と、貸室に比べて広いスペースと常時講師が近くで指導できる体制である為 人気が高く、年々利用者が増加傾向にあります。</p> <p>利用者数 8881人 (昨年度 8402人)</p>	<p>の開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催回数 3回 21日 <input type="checkbox"/>利用者数 434人</p> <p>●電動ロクロ中級教室の開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催回数 3回 21日 <input type="checkbox"/>利用者数 359人</p> <p>③●自由作陶教室の開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 350日 <input type="checkbox"/>利用者数 7540人</p> <p>●第2自由作陶教室開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 49日 <input type="checkbox"/>利用者数 1341人</p>
--	--	--	--

イ 市民の主体的な作陶活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①専門技能習得教室の単発講座の開催</p> <p>②多くのテーマの講座の企画、実施</p> <p>③作品発表の機会の提供</p>	<p>①●<input type="checkbox"/>専門技能習得講座として、電動ロクロ水挽き徹底教室を年間3回、12日、絵付け教室を年間2回、6日、特定のやきもの作り教室を年間2回、8日開催する。目標利用者数 410人</p> <p>②●基本となる酸化焼成の他に、還元焼成、上絵付け焼成、サヤ鉢焼成、穴窯焼成、楽焼焼成など各種の焼成も、別途講座にて実施する。</p> <p>●<input type="checkbox"/>普段の作品サイズ制限を超えた大物が焼成できる、大物焼成講座を、月2名ずつ、毎月開催する。</p> <p>・そのほか利用者の要望等も考慮しながら、単発講座を企画し、できるだけ実施できるよう努める。</p> <p>③●<input type="checkbox"/>利用者の作品発表の場として、陶芸祭時に作陶展を年1回開催する。</p>	<p>①専門技能習得教室を計画通り開講し、利用者数も増加しました。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 435人 (昨年度 416人)</p> <p>②酸化焼成の他大物焼成、楽焼焼成、強還元のサヤ鉢焼成、楽焼焼成、上絵付け（酸化焼成）、灯油窯の還元焼成による釉薬の酸化と還元の違いが体験できる、講座を実施しました。また、大物焼成講座の開講により食器、器以外の予想を超えた大きさの陶芸作品などに、受講生の興味が集まりました。また、穴窯焼成講座では、受講者自らが攻め焚きに参加し、燃料の薪を投げ込み、自然の中での非日常的な焼成体験を満喫しました。</p> <p>③毎年恒例の陶芸祭の催し</p>	<p>①●<input type="checkbox"/>電動ロクロ水挽き徹底教室</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 3回 12日 <input type="checkbox"/>利用者数 181人</p> <p><input type="checkbox"/>絵付け教室の開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 2回 6日 <input type="checkbox"/>利用者数 60人</p> <p><input type="checkbox"/>特定の焼物作り教室開催</p> <p><input type="checkbox"/>志野焼 138人 <input type="checkbox"/>サヤ鉢焼成 56人</p> <p>②●各種焼成講座開催</p> <p><input type="checkbox"/>還元焼成講座 759人 <input type="checkbox"/>絵付焼成講座 60人 <input type="checkbox"/>穴窯焼成講座 28人 <input type="checkbox"/>楽焼焼成講座 50人 <input type="checkbox"/>大物焼成講座 22人 <input type="checkbox"/>一日絵付金彩染付 34人 <input type="checkbox"/>一日絵付上絵付講座 0人 (講師怪我の為中止)</p> <p>③●<input type="checkbox"/>作陶展出品者 84人</p>

		物として利用者の作陶展を開催し、一般の来館者の目線からの評価を確かめられる場として意義のある作品発表ができました。	
--	--	---	--

ウ 市内の公益的作陶活動に対する支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 陶芸指導者対象の研修講座の開催 ② 市民団体等への団体教室の開催 ③ 公益的作陶活動に対する情報提供等による支援	① ● □ 小中高校の陶芸担当指導者のための研修講座を年1回開催する。目標利用者数20人 ② ● □ 各団体の作陶要望に応じて個別教室を設定し、団体教室として年10件以上実施する。目標利用者数280人 ③ □ 小中高校に対し、研修講座の案内のほか施設紹介や陶芸祭等の情報を、年1回DMにて提供する。 □ 学童保育を中心に年1回DMを実施し、団体教室の案内のほか施設紹介等の情報を提供し、施設の利用促進を図る。 ・学校をはじめ作陶活動を行っている団体、個人からの、相談あるいは出張教室等の要望があった場合は、適切に対応する。	① 今年度は、2日間の講座の開催となりました。陶芸指導のアドバイスや実技面での問題の解決方法等、充実した講座となりました。 ② 学童クラブ、市民活動センター、ボーイスカウト、在留外国人団体等、利用者、人数ともに達成目標を大きく上回りました。 ③ 小中高・各施設の陶芸担当者に対し指導者研修講座のDMを、また学童保育に対し団体教室の案内DMを発送しました。 25年度も学童保育の受講率は高く、年々利用者数も増えていきます。	① ● 指導者研修講座の開催 □ 開催回数 1回2日 □ 利用者数 15人 ② ● 団体教室の開催 □ 開催回数 17回 □ 利用者数 435人 ③ □ 指導者研修講座のDM □ 年1回実施 □ 団体教室のDM、 □ 年1回の実施

エ 陶芸と市民とを結びつける場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 気軽に参加できる教室の開催 ② 市民が興味を持つイベントの開催	① ・陶芸が初めての方を対象に、手びねり体験・絵付け体験ができる一日体験教室を開催する。公園来場者の飛び込み参加も呼び入れ、より多くの人に陶芸体験機会を提供する。 ② ・陶芸祭の開催により一般の来館者を増やすことで、施設の周知を図るとともに、期間中に開	① 初心者が体験できる講座として一日体験教室を、土日に年間33回開講しました。本牧市民公園内に講座の案内ポスターを掲示したり、見学者にパンフレットを手渡す等募集活動を行いました。 ② 陶芸祭を開催し、作陶展や体験教室を開催し、利用者もボラ	① ● 1日体験講座 □ 開催回数 33回 □ 利用者数 359人 ● 1日絵付け講座（金彩染付） □ 開催回数 2回 □ 利用者数 34人 ② ● 陶芸祭関連講座

<p>③ 市民の目に触れる情報の発信</p>	<p>催する体験教室では参加条件を設けずだれでも土に親しめる機会を提供する。また、本牧市民公園、三溪園との連携を模索し、陶芸祭の充実を図る。</p> <p>③・陶芸祭を核にした広報、広告活動を展開し、集客増を図る。また、地元自治会の協力を得られるよう、アプローチを図る。</p>	<p>ソシアとして運営にかかわり、来場者とともに盛り上がりのあるイベントとなりました。</p> <p>③陶芸祭用のチラシ及びDMを配布し、新聞折込広告の他記事掲載のための広報活動をおこない、地元自治会の御協力を得て掲示版へのチラシ掲出をおこないました。</p>	<p><input type="checkbox"/>開催回数 各講座3回</p> <p><input type="checkbox"/>手ひねり体験講座</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 63人</p> <p><input type="checkbox"/>電動ロクロ体験講座</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 49人</p> <p><input type="checkbox"/>楽焼き体験講座</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 50人</p> <p>③<input type="checkbox"/>陶芸祭関連記事は、朝日新聞、はまかぜ、広報よこはま、ヨコハマアートナビ 5誌</p> <p><input type="checkbox"/>本牧根岸地区連合町内会掲示版に広告掲載</p>
------------------------	---	--	---

オ 持てる資源を最大限に活用した取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 登り窯施設の活用</p> <p>② 登り窯に関連付けた穴窯焼成講座の実施</p>	<p>①・登り窯を、見学用施設として活用するほか、各講座案内パネルを掲出するなど、公園利用者に対して施設の周知を図る。</p> <p>・登り窯を施設の象徴的扱いとし、印刷物等で施設紹介する際には、登り窯の写真も掲載する。</p> <p>②●登り窯と同じく薪を使った焼成、穴窯焼成講座を年1回実施する。</p>	<p>①見学用施設として活用する他、公園利用者に対し、登り窯の説明や、歴史などの他陶芸センターの認知及び一日体験講座への参加、勧誘を行いました。</p> <p>②26年3月に登り窯と同じような赤松を燃料とする穴窯焼成講座を開講しました。また、出来上がった作品を、2週間センター内に展示し他の講座の利用者や、見学者の薪窯焼成への理解と興味喚起に役立てました。</p>	<p><input type="checkbox"/>市民公園来場者に登り窯の機能や構造の質問に答えながら、陶芸に関して興味を持ってもらうよう、応対し講座受講に役立ちました。</p> <p>広告媒体には登り窯を含めた写真を掲載し、陶芸施設としてのイメージアップに役立ちました。</p> <p>②●穴窯焼成講座</p> <p><input type="checkbox"/>開催回数1回 5日間</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 28人</p>

(2) 運営について

ア 作陶活動のための施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]				
<p>①適切に施設を開館する</p>	<p>①<input type="checkbox"/>開館について</p> <table border="1" data-bbox="435 1783 762 1883"> <tr> <td>開館日数</td> <td>356日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9時～17時</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>休館日9日(休館日:清掃・空調機点検2日、電気点検1日、年末年始6日)</p>	開館日数	356日	開館時間	9時～17時	<p>①計画通り実行し、適切に開館、運営ができました。</p> <p>②計画通り実行し、適切な料金設定と徴収を行いました。</p> <p>③成型室の貸し出しにより</p>	<p>①<input type="checkbox"/>開館日数 356日</p> <p><input type="checkbox"/>休館日 9日</p> <p><input type="checkbox"/>館内掲示やホームページで周知</p> <p>②<input type="checkbox"/>陶芸成型室利用料金 午前 午後各500円</p>
開館日数	356日						
開館時間	9時～17時						

<p>②適切に利用料金設定を徴収する</p> <p>③貸室による自由な作陶機会、場の提供</p>	<p>□開館時間、休館日については、館内掲示やホームページ等で周知を図る。</p> <p>②□利用料金について</p> <table border="1" data-bbox="435 342 762 633"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶芸成形室</td> <td>500円</td> <td>500円</td> <td>1000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>□焼成料(酸化焼成)は、焼成する前の粘土 100 g までごとに 100 円</p> <p>③□貸室稼働率 98% (利用日数 350 日/開館日数 356 日)</p> <p>□貸室目標利用者数 5,400 人</p> <p>□貸室目標利用料収入 (酸化焼成料含む) 4,172,000 円</p>		午前	午後	一日	陶芸成形室	500円	500円	1000円	<p>自由な雰囲気で作陶機会と、場の提供を行いました。</p>	<p>一日 1000円</p> <p>□酸化焼成料 100g ごとに 100円</p> <p>③□利用料状況等について (稼働率は、日にち単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 350日 稼働率 98% 延利用者数 5128人 自由作陶教室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 350日 稼働率 98% 延利用者数 8881人 講座用教室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 224日 稼働率 63% 延利用者数 4001人 <p>□貸室利用料収入 (酸化焼成料を含む) 3,988,950 円</p>
	午前	午後	一日								
陶芸成形室	500円	500円	1000円								

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

<p>[取組内容]</p> <p>①施設の利用促進、効果的な広報・宣活動</p> <p>②利用者サービス向上の取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□講座スケジュールガイドを年2回作成し、PRボックスにて配布するほか、広報ツールとして活用する。</p> <p>□すべての講座について、募集チラシを作成、館内にて配布する。</p> <p>□陶芸祭チラシを年1回作成し、PRボックスでの配布、新聞折り込み広告、DM等で活用する。</p> <p>・市の刊行物、フリーペーパー、一般紙誌、陶芸誌等のメディアへの情報提供により、記事掲載を推進する。</p> <p>②・貸出用小道具を配置し、必要な</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①施設の利用促進のため、計画通り効果的な広報、宣伝活動を行いました。</p> <p>②利用者アンケートによる利用者の声や、講師、アドバイザー、助手からの報告書等からの要望を把握し、新規追加講座の開催、陶芸ライブラリーの蔵書の補充、陶芸祭の開催等、利用者サービス向上に取り組みました。</p> <p>③ホームページの新着情報欄の更新、陶芸祭につい</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①□通年使用の施設紹介パンフレット作成なし</p> <p>□開講されるすべての講座についての募集チラシ作成 年1回</p> <p>□陶芸祭チラシ作成 年1回</p> <p>□新聞折込広告の実施 年1回</p> <p>□PRボックスによるパンフレットの配布 年4回</p> <p>□DMの実施 年4回</p> <p>学童、指導者研修、陶芸祭</p> <p>□記事掲載実績</p>
---	---	---	---

<p>③ ホームページの作成と運用</p>	<p>方には無償で提供する。</p> <p><input type="checkbox"/> すべての講座の利用者に対し、アンケートを実施し、満足度及び利用者ニーズ等を把握し、今後の運営に反映させる。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 講座案内の年度切り替えのほか、新着情報欄を月1回以上更新し、最新の情報を案内する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国公募展や陶芸ライブラリーの告知等で活用する。 ・ホームページの作品ギャラリーをより充実させ、陶芸祭人気作品集、全国公募展作品集のほか、利用者の作品紹介等身近なメディアとして活用する。 	<p>ての案内情報、陶芸作品ギャラリーによる、横浜アマチュア陶芸展出品作品の写真掲載等、活用を図りました。</p>	<p>10 媒体 25 回</p> <p>② <input type="checkbox"/> 小道具の無料貸し出し実施</p> <p><input type="checkbox"/> すべての講座についてのアンケート調査実施 (回収数、 705 通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内容満足度 91% (満足 80%、やや満足 11%) ・建物設備満足度 82% (満足 76% やや満足 16%) ・スタッフ満足度 98% (満足 91% やや満足 0.7%) <p>③ <input type="checkbox"/> 新着情報の更新 年 2 4 回</p> <p><input type="checkbox"/> 25 年陶芸ライブラリーの紹介</p> <p><input type="checkbox"/> 陶芸祭作品、全国公募展 入選作品の掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 他の陶芸関連リンクサイト集の掲示</p>
-----------------------	--	---	---

ウ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>① 適切な人材の配置を実施</p> <p>② 適切かつ効果的な勤務</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="435 1350 762 2020"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター長</td> <td>1 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td>1 人</td> <td>事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務</td> </tr> <tr> <td>社員</td> <td>2 人</td> <td>一部講師・貸室アドバイザー兼務</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>2</td> <td>ローテーション</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	センター長	1 人		所長	1 人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務	社員	2 人	一部講師・貸室アドバイザー兼務	事務員	2	ローテーション	<p>[実施内容]</p> <p>① 計画通り実行し、適切な人員配置と組織的な施設運営を実施しました。</p> <p>② 計画通り実行し、適切かつ効果的な勤務体制を維持して行くことができました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 人材の配置は、指標の通り達成</p> <p>② <input type="checkbox"/> 勤務体制は、指標の通り達成</p> <p><input type="checkbox"/> 職務分担に沿って、適切な職務遂行を達成</p>
項目	人数	備考																
センター長	1 人																	
所長	1 人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務																
社員	2 人	一部講師・貸室アドバイザー兼務																
事務員	2	ローテーション																

体制の確立		人	オン勤務		
	講師	8	ローテーション		
		人	オン勤務		
	貸室アドバイザー	5人	一部講師、助手兼務、ローテーション勤務	<p>②□勤務体制について</p> <p>センター長は月3日その他随時必要時、所長は週3日出勤。各講座指導部門では、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務とし、講座運営に支障のないようにする。事務部門では、毎日2人以上のローテーション勤務体制とする。</p> <p>・職務分担表の作成、徹底により、効率的な業務遂行を行う。</p>	

エ 施設見学等への対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設見学等への対応	①・施設見学や施設撮影、取材等について、利用者の妨げにならない範囲で、積極的に対応する。	①利用者の妨げにならない様配慮し、積極的に対応しました。	①□一般見学 1,676人 □取材 年1回 ジャパンケーブルネット番組撮影4月、 (新三ツ木清隆の散策のすすめ)

オ その他の運営目標について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①経費削減の努力	①・経費削減のため、講師ローテーションの工夫や事務経費削減に努める。 ・教室運営にかかわる補助的作業について、出来る範囲のものは職員の作業により、経費抑制を図る。	①計画通り経費削減に努めました。事務経費抑制により事務費の削減が出来ました。また、社員のアドバイザー兼務により事業費の削減が出来ました。	①□事業費実績 16,321千円 (対予算比 94%) □事務費実績 4,148千円 (対予算比 79%)
②指定管理料のみに依存しない収入構造の検討	②・自主事業の受講者を効率的に獲得し、受講率を高める。	②自由作陶教室と基礎教室及び企画講座の受講率が向上し事業収入を大きく増や	②□事業収入実績 22,362千円 (対予算比 121%) □陶芸雑誌 なし

<p>③陶芸知識・情報の基地化を進める</p> <p>④自主事業での優遇制度の実施</p>	<p>・全国公募展の実施にあたり、外部とのタイアップを検討する。</p> <p>・企業との協賛講座企画を立案し、実現の可能性を探る。</p> <p>③・陶芸知識、情報支援として、講義、実演等のイベントを実施。</p> <p>・陶芸ライブラリーの蔵書補充とともに、PRの強化を図る。</p> <p>④・介護ボランティアいきいきポイント事業への協力、濱ともカード事業への協賛等、市の事業への協力の中で、講座の割引や無料提供を行う。</p>	<p>す事が出来ました。</p> <p>③陶芸祭を開催し、また新しい企画の焼き物講座を開講しました。また、陶芸ライブラリーを充実させ陶芸知識、情報の基地化を進めました。</p> <p>④自主事業での優遇措置として、介護ボランティアいきいきポイントカード事業への協力、濱ともカード事業への協賛を行いました。</p>	<p><input type="checkbox"/>他施設との共催講座 企画立案、検討中</p> <p>③<input type="checkbox"/>2014年横浜陶芸センター祭</p> <p><input type="checkbox"/>陶芸ライブラリー利用者数 139人、211冊</p> <p><input type="checkbox"/>図書の補充 24冊</p> <p>④<input type="checkbox"/>いきいきポイント特典と、濱ともカード提示により一日体験招待10組20名と手びねり講座受講料半額特典を実施（陶芸祭期間中）</p>
---	---	--	--

(3) 管理について

ア 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①施設の適切な保守管理</p> <p>②設備の適切な保守管理</p> <p>③備品等の適切な保守管理</p>	<p>①<input type="checkbox"/>施設の毎日の見回り点検により、適切な維持管理を行う。そして、早期に修繕箇所を発見し、横浜市に報告するとともに対策を検討する。</p> <p>②<input type="checkbox"/>空調機器定期点検を年2回行う。</p> <p>・日常使用していく中で、不具合、異常がないか常にチェックし、管理を徹底することにより、事故を未然に防ぐ。</p> <p><input type="checkbox"/>粘土や釉薬を直接下水に流さず、下洗い箱を設け一度沈殿させたうえで、上水だけを流すよう毎日の作業として徹底する。</p> <p><input type="checkbox"/>排水溝、桝の掃除を年2回実施し、桝の増設、改修後の汚泥量を引き続き記録するととも</p>	<p>①施設の毎日の見回りの他、小規模な修繕や補修等、適切な保守管理に勤めました。講座用教室の土台木部腐食部分と、窯場南側降雨時浸水箇所の防水工事については、横浜市と協議し27年度中を目標に対策を検討してゆきます。</p> <p>②空調設備、給排水設備、消防設備、ガス設備等について毎日の使用の中で常に管理を徹底することにより、設備の適切な保守管理に勤めました。特に釉薬や、汚泥のための下洗い箱による沈殿作業を徹底し、下水への流入防止に努めました。また、講座</p>	<p>①<input type="checkbox"/>毎日の見回り点検及び年1回の施設簡易点検報告。</p> <p>②<input type="checkbox"/>空調、給排水、消防、ガス等、設備の日常管理、機能点検実施</p> <p><input type="checkbox"/>空調機定期点検年2回</p> <p><input type="checkbox"/>粘土釉薬を直接下水に流さないよう毎日々下洗い管理を徹底</p> <p><input type="checkbox"/>排水溝、桝の清掃年2回</p> <p><input type="checkbox"/>修繕実績</p> <p>サッシ、鍵の修繕</p> <p>自転車の修繕</p> <p>給湯器、点検修理</p> <p>③<input type="checkbox"/>陶芸窯の毎月点検実施</p> <p><input type="checkbox"/>陶芸窯の年1回定期点</p>

	<p>に、適切に汚泥処理をする。</p> <p>③<input type="checkbox"/>陶芸窯の安全な運用のため、毎月1回の点検のほか年1回の定期点検を行う。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての焼成の焼成管理表を作成し、適切な焼成管理を行う。</p>	<p>用通路ドアの開閉不良、粘土収納室北側の雨樋の修繕を行いました。</p> <p>③電気窯の毎月の機能点検と、年一回の電気窯及び窯業機械の保守点検を行い、焼成管理表の作成により、適切な焼成管理を行いました。</p>	<p>検実施</p> <p><input type="checkbox"/>焼成管理表の作成</p> <p><input type="checkbox"/>修繕実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動ろくろ修理1台 ・電気炉 25Kwヒーター線前面張替え修理1件
--	---	--	--

イ 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①施設を清潔に、そして安全な状態に保つ努力</p> <p>②廃棄物の抑制と適正な処理</p>	<p>①<input type="checkbox"/>清掃業務は清掃業者に委託し、毎日清掃と年2回の定期清掃を行うとともに、建物周辺の美観維持のため、草刈り等適宜手入れをする。</p> <p>②<input type="checkbox"/>使用済み粘土、削りかす粘土、使用済み釉薬は、出来るだけ再利用するため分別回収箱を設けるなど、毎日適切に管理する。</p> <p><input type="checkbox"/>再生を基本とし、廃棄物を最小限に抑える努力をするが、最終的に再生できない粘土や釉薬は産業廃棄物として、横浜市ルート回収にて適正に廃棄する。管理状況を月1回チェックする。</p>	<p>①毎日の清掃と、年2回の定期清掃を実施し、安全かつ清潔な環境を保てるよう日常清掃のスタッフの意見を聞きながら、努力しました。</p> <p>②使用済みの粘土や釉薬は、出来る限り再生し、産業廃棄物を押さえる努力をしました。最終的に再生できないものは、産業廃棄物として、横浜市のルート回収で適正に廃棄処理し、管理状況を毎月欠かさずチェックしました。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>委託清掃業者による毎日清掃と年2回の定期清掃の実施</p> <p><input type="checkbox"/>施設周りの草刈、屋根</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樋掃除を適宜実施 <p>②<input type="checkbox"/>粘土釉薬の再生のため分別回収を毎日徹底</p> <p><input type="checkbox"/>産業廃棄物の毎月管理ルート回収による適正な廃棄</p>

ウ 保安警備業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①適切な保安警備業務の遂行</p>	<p>①・施設の保安警備業務は警備業者に委託し、24時間警備を行う。(機械警備)</p>	<p>①計画通りの、適切な保安警備業務を実施しました。</p>	<p>①委託警備業者による、24時間警備の実施</p>

エ 公園管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 適切な公園管理業務の遂行	①・公園内にある施設ということを常に意識し、環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を行う。	計画通り、適切な公園管理業務を実施しました。	①公園内の環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を実施

オ 防災等について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 防災等への適切な対応	① <input type="checkbox"/> 利用者も含めた避難訓練を年2回実施する。 ・職員、講師に対し、防災マニュアル、緊急連絡網を確認、対応の徹底を図る。 ・陶芸窯の焼成について、スタッフの安全教育、防火管理を徹底し、1年間無事故を目指す。	①計画通り、防災等への適切な対応ができました。非難訓練では、利用者、の方にも協力してもらい、該当曜日全員参加で行いました。	① <input type="checkbox"/> 非難訓練を年2回実施 (9月、3月) ・防災マニュアル、緊急連絡網の確認、徹底 ・陶芸窯焼成の安全マニュアル教育、防火管理の徹底 ・1年間無事故達成

カ 緊急時の対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 緊急時の対応	①・事件、事故、災害等の緊急事態が発生した場合は、ただちに必要な措置をとるとともに、市と協力して適切に対応する。	①緊急時対応マニュアルに従って対応準備をしました。	① <input type="checkbox"/> 特に緊急事態の発生は、ありませんでした。

キ 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 光熱水費の削減への取組	①・電力、水、ガスの使用量について、記録、分析し、光熱水費の削減に努める。	①計画通り、高熱水費の削減に取り組みました。	① <input type="checkbox"/> 電力、水、ガスの使用量実績について毎月記録、分析 <input type="checkbox"/> 年間電気使用量 8, 284 Kw (対前年比99, 55%)

(4) その他について

ア 日報及び月報の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日報、月報の作成と管理	①・日報、月報を作成・管理する。 ・日常業務の中でPDCAサイクルを推進することにより、短いサイクルでの早い対応ができるよう、努力する。	①計画通り、日報、月報の作成と管理を行い、PDCAサイクルの推進により素早い対応をこころがけました。	①・日報、月報の作成、管理 ・センター利用者のアンケートからの要望等を受け、新講座の追加開催 3講座開催 上絵、一日金彩、一日染付け

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①業務計画書、業務報告書の作成と管理	①・業務計画書及び業務報告書について、定められた様式に沿って作成、管理を行う。	①計画通り、業務計画書、業務報告書の作成と管理を行いました。	①業務計画書、業務報告書の作成と管理

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①モニタリングの実施による業務評価	①・モニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する。	①計画通り、モニタリングの実施による業務評価を行いました。	①利用状況、施設管理状況 問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況を報告

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①自己評価の実施による業務評価	①・業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める。	①計画通り、自己評価の実施による業務評価を行いました。	①業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を実施

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①第三者評価の実施による業務評価	①・業務評価にあたり、外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する。	①25年度内に、第三者評価の実施は、ありませんでした。	

エ 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①保険の加入	①・賠償責任保険、動産総合保険、	①計画通り、保険の加入によ	①賠償責任保険、動産総合保

と損害賠償への対応	レジャー・サービス費用保険に加入し、契約書および保険証書の写しを市に提出する。	り損害賠償への備えを整えました。	険、レジャー・サービス費用保険に加入
-----------	---	------------------	--------------------

オ 法令の遵守と個人情報保護について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①法令の遵守と個人情報保護への取組	①・法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める。	①計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取り組みを行いました。	①法令、条例及び規則の遵守と利用者の個人情報の適正な取り扱い

カ 情報公開への積極的取組について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①情報公開への積極的取組	①・情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 ・業務計画書、業務報告書をはじめ、施設運営情報等をホームページで公開していく。	①計画通り、情報公開への積極的な取り組みを行いました。	①業務計画書等、施設運営情報のホームページでの公開

キ 市及び関係機関等との連絡調整について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①市及び関係機関との連絡調整	①・月次モニタリングにて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時市に報告・協議し、円滑な業務遂行を目指す。	①計画通り、市及び関係機関との連絡調整を行いました。	①月次モニタリングでの業務の報告、確認の他、随時市に報告、協議し、円滑な業務遂行

ク その他の留意事項について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①その他留意事項への対応	①・許認可及び届出等の手続について、必要な場合、これを行う。 ・施設の目的外使用の手続について、自動販売機他必要な場合、これを行う。 ・名札の着用について、施設職員はこれを実行する。	①その他留意事項について、計画通り実行しました。	①・許認可及び届出等の手続の実施 ・自動販売機設置に伴う目的外使用手続の実施 ・名札の着用

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重について、職員に対し人権に関する研修を年1回実施する。 ・近隣対策の実行について、管理・運営上の近隣への迷惑行為には充分留意し、対策を講じる。 ・書類の管理について、施設の竣工図等重要書類を適切に管理する。 ・行政機関が策定する基準等の遵守について、これを行う。 ・法律の制定及び改正への対応について、これにより今後業務が発生した場合、市と協議のうえ対応する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する研修を年1回実施 ・近隣対策として、本牧市民公園内の環境維持 ・施設の竣工図等、重要書類の管理保管 ・行政機関が策定する基準等の遵守 ・法律の制定及び改正について、市と協議、対応
--	--	--	--

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	18,000,000	18,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,172,000	3,988,950	183,050	貸室利用料、貸室焼成料
事業収入	18,478,000	22,361,925	-3,883,925	自主事業収入（自主事業教室、粘土代等）
その他収入	350,000	590,687	-240,687	自販機売上手数料等
合計	41,000,000	44,941,562	-3,941,562	

支出				
人件費	12,670,000	11,709,345	960,655	給与、法定福利費、通勤費等
管理費	5,700,000	5,636,389	63,611	修繕費、水道光熱費、施設管理費等
（内訳）修繕費	1,000,000	1,234,826	-234,826	修繕、メンテナンス
燃料費	400,000	325,699	74,301	LPガス、灯油
光熱水費	1,600,000	1,431,182	168,818	電気、水道
施設管理費	2,700,000	2,644,682	55,318	清掃、警備委託管理
事業費	17,360,000	16,320,767	1,039,233	粘土等商品仕入れ、講師報酬および交通費等
事務費	5,270,000	5,610,354	-340,354	広告宣伝費、通信費、消耗品費、事務用品費、消費税等
合計	41,000,000	39,276,855	1,723,145	

収支計	0	5,664,707	-5,664,707	
-----	---	-----------	------------	--